



土の中からの 贈り物

ここ掘れ
ワンワン



Yoniko.YC.

土の中からは、さまざまな「モノ」がでてきます。安曇野市内では1300万年前の生物の化石から150年前のレンガまで。それぞれが、げんざい現在生きている私たちへのおく贈り物です。ものどんな宝物、そしてガラクタがあるのでしょうか。



古厩出土の埋納銭



貝の化石



東小倉遺跡出土の埋甕

令和8年 2月21日(土)~5月6日(水・祝)

休館日：月曜日、祝日の翌日（ただし 3/21日は開館）



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM
安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地8

TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772

<https://www.city.azumino.nagano.jp/site/museum/>

土の中からの贈り物 ここ掘れ ワンワン



民話「花咲かじいさん」。正直じいさんの可愛がっていた犬が畑で「ここ掘れワンワン」と鳴き始めた。正直じいさんが掘ったところ、大判・小判が掘り出され、正直じいさん夫婦は大変喜んだ。それをねたんだ隣のいじわるじいさん、宝物を探させようと無理やり犬を連れていき、「ワンワン」と鳴いた場所を掘ってみると、出てきたものは欠けた茶碗や瓦などのガラクタだった。いじわるじいさん夫婦は怒ってしまいました。

でも実は、いじわるじいさんは「考古学者」だったのでは…考古学者は茶碗や瓦は大好きです。民話ではありませんが、土の中からは、さまざまな「モノ」が出てきます。安曇野市内では1300万年前の生物の化石から、150年前のレンガまで…。それぞれが、現在生きている私たちへの贈り物です。この企画展ではどんな「モノ」が出てきたのか紹介します。どんな宝物、それともガラクタがあるのでしょうか。

はるか遠い時代からの贈り物

安曇野市の東側には、かつて海の底だった地層が広がっています。豊科や松本市四賀の約1300万年前の地層からは当時の海の生き物の化石が数多く発見されています。そのいくつかを展示します。

主な展示品：ヒゲクジラの顎骨、サメの歯、魚（イワシ、ニシン、タイほか）、カニ、貝、アロデスムス、植物



イワシの化石



サメの歯

人が作り、運び、そして埋めた、捨てた物

日本列島に人が生活しはじめて3万年。人が行動する中で、不要になって捨てられたり、また大事に埋められた物がたくさんあります。

主な展示品：黒曜石（長野県立歴史館蔵 ほか）
勾玉、縄文土器、明科廃寺の瓦、東山で焼き損じた須恵器
経塚から出た経石と五輪塔（長野県立歴史館蔵）
穂高有明古厩から出た多量の銭、明科で焼かれたレンガ



古殿屋敷遺跡木棺墓から出土した品々



黒曜石

ワークショップ

石を割って化石をみつけよう！

日時 3月22日（日）10:00～12:00
講師 埴 東子（松本市四賀化石館学芸員）
対象 親子10組（先着順）
費用 100円（1組の参加費）
申込 3月12日（木）から電話で
会場 豊科郷土博物館2階学習室

鑑定会

土の中からの贈り物 鑑定会

対象 小中学生
費用 無料
申込 不要
会場 豊科郷土博物館2階学習室

鑑定会Ⅰ「石や化石」

日時 4月18日（土）10:00～12:00 13:00～14:00
鑑定人 埴 東子（松本市四賀化石館学芸員）
松田 幸子（安曇野市職員）

鑑定会Ⅱ「土器や石器や茶碗」

日時 4月25日（土）10:00～12:00 13:00～14:00
鑑定人 原 明芳（豊科郷土博物館長）
土屋 和章（安曇野市文化課職員）

もしかしたら、お宝が見つかるかも！！
鑑定して欲しいものをお持ちの方は博物館に集合！！
ご参加お待ちしております。

AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM 安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地8
TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772
<https://www.city.azumino.nagano.jp/site/museum/>

【開館時間】 9:00～17:00（入館受付は16:30まで）

【入館料】 高校生以上100円（20名以上は1名80円）

市内在住の70歳以上の方、
障がい者と付き添いの方1名は無料
会期中、中学生以下及びその保護者2名は無料

【休館日】 月曜日・祝日の翌日

【アクセス】 JR大系線豊科駅より徒歩15分

JR篠ノ井線田沢駅より車で10分 長野自動車道安曇野ICより車で5分

